

活動報告

団体名	一般社団法人札幌 YWCA
活動名	むかわ町子ども発達支援センターたんぽぽと周辺仮設住宅の支援活動
活動期間	2018/09/6 ~ 2019/03/31
活動の成果	<p>札幌 YWCA が中心となり「支援連絡協議会」を組織し、むかわ町発達支援センターたんぽぽの支援をしました。最初は、10月1日～10日（除く祝日・日曜）、保育士の補助として、地震で傷ついた子どもたちの心の安定をはかるために一緒に体を動かしてゲームをして遊ぶボランティアを派遣しました。保育士の方々は、札幌からきた私たちとの距離を測りかねているようで、最初はとても緊張している様子でした。しかし日を追うにつれ信頼関係が生まれ、プログラムを任せ、また、むかわ町にもう一つある子ども発達支援センターの支援の依頼を受けるまでになりました。この活動を通して、たんぽぽの方々と信頼関係を築くことができたことが、もっとも大きな成果だったと思います。</p> <p>地震のため見合わせようと考えていたクリスマス会を保育士の方々と協力して企画し、12月17日に実施。参加者は70名となり、熱気あふれる会場で、子どもたちとその兄弟、保護者、保育士の方々も笑顔であふれました。プログラムに参加しているボランティアがプログラムと平行して保護者から直接話を聞くことができる場を作り出し、複数の保護者が「また、次の地震がきたら」という不安を日常的に抱えていることもわかりました。プログラムでは、マジックに子どもたちが前進し興味津々、一緒にハンドベルを演奏し、サンタクロース登場に歓声をあげ、エプロンシアターのお話には大声で応えていました。子どもたちも保護者も、また保育士もほんのひと時ですが、日常を離れ楽しむことができたと思います。</p> <p>3月27日「お楽しみ会」もお手伝いし参加者87名。センター長から終了証と手作りのプレゼントが手渡されました。クリスマス会に好評だったミュージックベル、エプロンシアターに加え、フルーツ生演奏を聴きました。重度の心身の障がいをもつお子さんの保護者からは「フルーツの音を聞いて、子どもが落ち着きました。」と言われ、私たちも心があたたかくなりました。</p> <p>この活動を通して、支援連絡協議会を発足させ、そこから支援の輪が広がったことも成果の一つだったと思います。</p> <p>これからも、たんぽぽを応援し、日常を取り戻すことができるまで、伴走していきます。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>2月に2度目の大きな地震がありました。子どもたちの心は不安が広がっています。朝食をとっても吐いてしまう子や、不安でここから出たいと持っている子、地震ごっこの遊びも始まっています。保養のプログラムが必要な時期に来ていると思われそうです。</p> <p>この子どもたちに安心が与えられ、笑顔でいるために、これかれも心を尽くし、思いを尽くして支援を続けていきたいと考えております。</p> <p>赤い羽根共同募金を通して思いを寄せられた方々と、活動を通してつながることができました。</p> <p>皆様のお支えに感謝しております。</p>

(活動のようす)

